

企画展

北海道立アイヌ民族文化研究センター
北海道立北方民族博物館

やま だ ひで そう
山田秀三の地名研究から

2013・冬…… 網走／オホーツク

北海道立北方民族博物館

(網走市字潮見 309-1 / 天都山・道立オホーツク公園内)

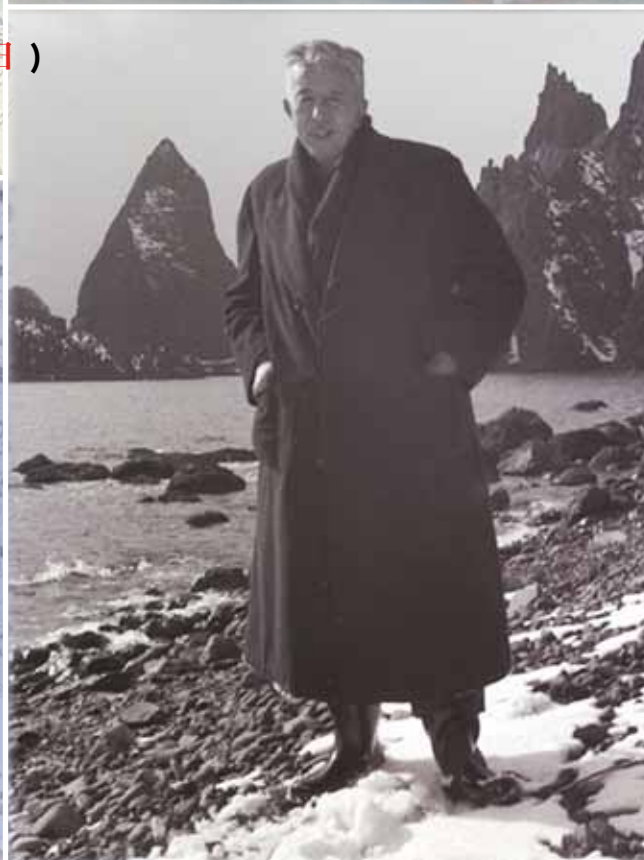
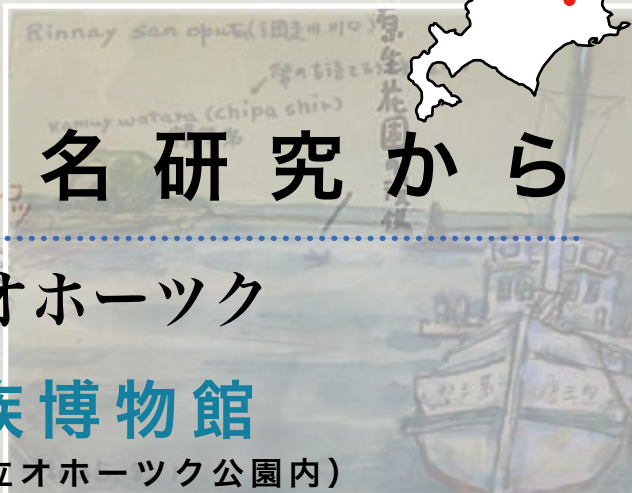
2月2日(土) ▶ 4月7日(日)

- 開館時間 9:30-16:30
- 休館日 月曜(ただし、2月は無休)
- 観覧無料

(※北方民族博物館常設展をご覧になる場合は、同館の入館料が必要です。)

関連事業 — 講座・講演会 —

- ◆ 展示解説講座
2月2日(土) 13:30～15:00
北海道立北方民族博物館
講師：北海道立アイヌ民族文化研究センター職員
- ◆ 講演会「アイヌ文化と『環境』」
2月9日(土) 13:30～15:30
北海道立北方民族博物館
講師：本田 優子氏(札幌大学教授)
- ◆ 講演会「アイヌ語地名研究と山田秀三」
2月16日(土) 13:30～15:30
北海道立北方民族博物館
講師：伊藤 せいち氏(北方民族博物館研究協力員)
北海道立アイヌ民族文化研究センター職員



アイヌ語地名を歩く

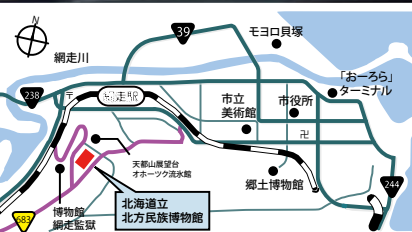


地名は、地域の歴史と文化をさまざまなかたちで反映しています。地域に暮らす人々にとってはもっとも身近な存在の一つであり、訪れる人々にとっては地域を知り、親しむ手引きにもなります。

北海道の地名の多くは、アイヌ語に由来しています。これらのアイヌ語地名について知ることは、アイヌの歴史と文化を知るとぐちとなります。

当研究センターが所蔵する「山田秀三文庫」は、アイヌ語地名研究の第一人者である山田秀三氏(1899～1992年)が遺した、アイヌ語地名に関する他に類を見ない貴重な資料であり、各地の地名に関する情報が豊富に含まれています。

この展示では、山田秀三文庫の資料から、網走をはじめとするオホーツク海沿岸地方を中心に、山田氏が用いた地図、現地で撮影した写真、それらをまとめた記録などを紹介しながら、山田氏の地名調査のあとをたどっていきます。



●北海道立北方民族博物館
網走市字潮見 309-1
(指定管理者 財団法人北方文化振興協会)
開館時間 9:30-16:30 月曜日休館
(ただし、2月は無休です。)
★道の駅(網走流氷砕氷船のりば)、
網走バスターミナル、JR 網走駅から網走バス運行
中です。

このチラシに掲載した写真について(全て展示会場で紹介している山田秀三文庫の資料です):
①山田秀三氏。室蘭・チャツナイの海岸にて(1960年2月)。②山田氏による網走港のスケッチ(1960年)。③山田氏が地名調査の記録を書き込んだ満洲湖付近の地理調査所5万分の1地形図(1960年)。④藻琴湖付近の国土地理院5万分の1地形図(1974年)。⑤天都山から網走の大曲付近を描いたスケッチ(1960年)。⑥左のスケッチと同じ位置から撮影した写真(1960年)。⑦網走の市街地。山田氏撮影(1983年)。⑧能取湖。国道を走る自動車から山田氏撮影(1973年)。

③	②
④	①
⑤ ⑥	
⑦ ⑧	